

2018年度 夏期講座「教師のためのことばワークショップ」概要

- 日程：8月18日・19日
- 時間：1日目 10:00-17:30 2日目 10:00-16:30
- 場所：西新宿三井ビル13階
- 募集人数：40名
- 参加費：11,000円
- 開催趣旨

英語教育をより広い視野から捉え直す

周知のように、昨年3月に小学校と中学校の新しい学習指導要領、そして、この3月に高等学校の新しい学習指導要領が告示されました。この改訂において、日本語（国語）と英語を含む、ことばの位置づけも少なからず変わりました。また、大学入試における英語の扱いも大きな話題になっています。

こうした状況を受け、今年度の「教師のためのことばワークショップ」では、「英語教育をより広い視野から捉え直す」をテーマに、講義とワークショップを有機的に関連づけた試みをいたします。

特別講演では、昨年に引き続き、文部科学省の直山木綿子教科調査官に新たな学習指導要領が意図するところを中心に語っていただきます。

講義では、《「ことば」とはなにか》を探求する言語学からの知見に関連して、東京言語研究所運営委員長の窪菌晴夫氏が日本語方言からはじめる英語教育について、大津由紀雄氏が日英語の比較について話します。日本語教育の長い実践経験を持ち、齋藤ひろみ氏には、英語教育にとっても重要な視点を提供してくれる日本語教育の立場からの講義をお願いしました。さらに、これまで英語教育においては手薄になりがちであった音声指導について、経験豊かな村上加代子氏に講義をご担当いただきます。

ワークショップでは、各講師にそれぞれの講義に関連した実践活動へのヒントを盛り込んだ活動を先導していただきます。加えて、多文化理解という視点から、これまた経験豊かな齋藤理一郎氏に、日本語から英語を捉えなおすという視点では末岡敏明氏にセッションをご担当いただきます。

なお、講義とワークショップの終了後、全体ディスカッションを開きます。毎年、好評を得ている企画で、心を割ったやりとりが展開されるものと思います。

一日目の夜には講師を交えた懇親会を開催いたします。講師と受講者が親しく語り合う場として、この企画の重要な一部と位置づけています。

夏の二日間を英語教育について、ことばについて、考え、語り合い、実践する楽しみをご一緒に味わってみませんか。

●日程

<1日目>

- 10:00 - 10:15 開講式 主催者挨拶 窪菌晴夫
(東京言語研究所運営委員長／国立国語研究所教授)
趣旨説明 大津由紀雄 (明海大学教授)
- 10:15 - 12:00 講演 直山 木綿子 (文部科学省) 質疑含む
- 12:00 - 13:00 昼休み
- 13:00 - 13:45 講義 日本語母方言からはじめる英語教育 (講師：窪菌晴夫)
- 13:45 - 14:30 講義 素朴言語学からの脱却をめざす『ことばの教育』 (講師：大津由紀雄)
- 14:45 - 16:15 講義とワークショップ

英語の音韻認識とデコーディング習得（講師：村上加代子）

16:15 - 16:30 休憩

16:30 - 17:30 全体討論

18:00 - 20:00 懇親会（任意参加）参加費別途 原則は事前申込

<2日目>

10:00 - 11:30 講義とワークショップ
社会参加のための言語教育（仮）（講師：齋藤ひろみ）

11:30 - 12:30 昼休み

12:30 - 13:40 ワークショップ 「ことば」を教える英語教育（講師：末岡敏明）

13:50 - 15:00 ワークショップ 教科書の登場人物は、いい人ばかり？
（講師：齋藤理一郎）

15:15 - 15:30 休憩

15:30 - 16:30 全体ディスカッション・閉講式